

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：鈴木克宗

事業名 一般国道4号 ^{もとみや} 本宮拡幅 起終点 自：福島県安達郡本宮町大字荒井字陣場 至：福島県安達郡大玉村上山字堂ヶ久保	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局 延長 8.9 km
事業概要 本宮拡幅は、本宮町や大玉村内における国道4号の交通混雑の解消等を目的とした8.9 kmの4車線道路である。		
S53年度事業化		S56年度都市計画決定
S54年度用地着手		S55年度工事着手
全体事業費	190億円	事業進捗率
計画交通量	47,600台/日	供用済延長
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 4.6 (残事業) 17.6	総費用 (残事業/事業全体) 42/303億円 (事業費：25/252億円) (維持管理費：17/51億円)
総便益	(残事業/事業全体) 736/1406億円 (走行時間短縮便益：651/1329億円) (走行費用減少便益：23/16億円) (交通事故減少便益：65/61億円)	基準年：平成17年
感度分析の結果 事業全体・残事業について感度分析を実施 (事業全体) 交通量変動：B/C=5.2(交通量+10%) B/C=4.2(交通量-10%) (残事業) 交通量変動：B/C=20.0(交通量+10%) B/C=16.2(交通量-10%) 事業費変動：B/C=4.4(事業費+10%) B/C=4.9(事業費-10%) 事業費変動：B/C=4.6(事業費+10%) B/C=5.4(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=3.8(事業期間+20%) B/C=5.4(事業期間-20%) 事業期間変動：B/C=4.4(事業期間+20%) B/C=5.4(事業期間-20%)		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（渋滞損失時間：281.0→154.0万人・時間/年と約5割削減） ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる） 他8項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 本宮拡幅は、本宮町や大玉村内における国道4号の交通混雑の解消、交通安全の確保、日常活動圏の中心都市への速達性向上等に重要な役割を果たすことが期待されており、本宮町をはじめとする関係首長で構成される国道4号福島市郡山市間早期完全4車線化整備期成同盟会より、早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】事業費：160億円（進捗率 84%） うち用地費：60億円（進捗率 75%）		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業進捗に係わる問題はなく、L=2.9 km区間について、平成19年度の全線完成4車線供用を目標に事業推進を図る。		
施設の構造や工法の変更等 コンクリート2次製品の長尺物の採用によりコスト縮減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。